



# オーストラリア直送レポート

**Vol.11** 2015.8.15 空は晴れ、涙の別れ！

異国で出会ったすべてに感謝

- ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課・林
- パーマストーン校・ローズベリー校グループ／教育委員会社会教育課・岩崎

出会いがあれば、いつか別れの日が訪れます。今日は生徒たちにとって、オーストラリアでお世話になったホストファミリーとの別れの日です。空は初めてオーストラリアの地に降り立った日と同じく、快晴です。それぞれのホストファミリーに付き添われ、空港に集合してきた生徒たちの表情は、どこか寂しげに見えました。限られた時間のなかで、ホストファミリーと連絡先を交換したり、再会を誓いあったりしていました。普段は大人びたように見える生徒たちも、握手やハグを交わしているなかで、感情を抑えきれなくなったのか、ポロポロ涙を流していました。そんな光景を見ていると、こちらまで熱いものがこみ上げてきました。生徒一人ひとりが、それぞれの感謝の気持ちを胸に、研修の地、オーストラリアを後にしました。

シンガポールでは、オーストラリアの大自然とは違って変わって、巨大人工建造物が立ち並ぶ大都会に、生徒たちは新たな刺激を受けていました。シンガポールを出国して、関西国際空港に降り立つと、生徒たちからは「宿題やらないと」「クラブが始まる」…など、早くも日本での生活を意識した発言が聞こえてきました。生徒たちの順応性や切り替えの早さに改めて驚かされました。



Departures						11:48
Airline	Flight	Destination	Scheduled	Boarding	Gate	Status
Qantas	QF839	Melbourne	12:45	12:25	4	
Qantas	TL332	Kununurra → Broome	12:55	12:35	9	Check In
Qantas	QF757	Adelaide	13:05	12:45	7	
Jetstar	JQ921	Cairns	13:25	13:00	6	Check In
Qantas	AA7392	Brisbane	13:30	13:10	5	
Qantas	VA1460	Melbourne	13:35	13:15	6	
Qantas	QF843	Sydney	13:50	13:30	9	
Qantas	VA454	Brisbane	14:10	13:50	3	
Qantas	M1828	Singapore	14:15	13:45	13	Check In
Qantas	VA1354	Sydney	14:50	14:20	5	

生徒たちを吉備庁舎で見送り、その後ろ姿を眺めていると、初めて出会った頃より一段のたくましさを感じました。申込書に書いた強く熱い意気込み。面接で見せた緊張した表情。何度も何度も練習したダンスや1分間スピーチ。オーストラリアでの実際の研修生活は、日本で想像していた

ものとは大きく異なっていたことでしょう。

期待と不安を胸に、空港で初対面を果たしたホストファミリー。ホストファミリーとの生活には、日本とは異なった「衣」「食」「住」がたくさんあったことと思います。日本ではなかなか目にする事のない、色使いの服や民族衣装など。肉食中心のすごいボリュームの食事。お米でなく麺類や芋類であったり、初めての食べ物や味に、数多く出会ったことでしょう。住居は2階建てでなく平屋の家が多く、大きな庭にプールがあったり、BBQの設備があったりしました。ホストファミリーは、緊張している生徒たちに気さくに話しかけてくれ、生徒たちの話を熱心に聞いてくれました。また、オーストラリアに到着した最初の休日から、生徒たちをショッピングやビーチへの散歩、プール、観光地などに連れ出してくれ、さまざまな体験の場を提供してくれました。そんな心優しいホストファミリーと時間を過ごすなかで、生徒たちも次第に心を開いていきました。そして生徒たちに、第二の家族ができました。



学校生活では、日本の生徒たちが溶け込みやすいように、気軽に話かけてくれました。毎日会いに来てくれる子、プレゼントをくれた子…一緒にスポーツをしたり、お互いの言葉を教えあったり、楽しい時間を過ごし、笑顔で結ばれた友だち。友だちになるのに、言葉の壁なんて関係ない。オーストラリアに、かけがえのない新しい友だちを得ることができました。

生徒たちは、日本の学校との違いを、現地の学校で随所に見たり体験したと思います。例えば、一度に同じ教室で授業を受けている生徒の人数が少ない。座る場所が決まっていない。授業ごとに教室を移動する。授業中に映像やBGMが流れている。“RECESS”という20分間の休み時間があり、軽食を食べたり飲んだりする。他にもたくさんあったことでしょう。実際に、現地で自分自身で見聞きして、いろいろな

ことを感じた経験は、きっと生徒にとって宝物になるでしょう。

生徒たちにとって、この研修は終わってみれば楽しい良い思い出ですが、当初は戸惑っている生徒の姿をよく見かけました。現地の生徒の英語が理解できなかつたり、理解できてもその返事をなかなか声に出せなかつたり。また、正しい英語で話そう、間違ったことを言いたくないとの思いから、コミュニケーションをとることに躊躇もしていました。しか



し、次第に日本人スタッフに助けを求める回数も減り、身ぶり手ぶり、時には辞書で単語を調べたり、相手の表情や分かる単語から推測して、会話を成り立たせることができるようになりました。さらには、現地の生徒に「こんにちは」「ありがとう」など日本語を教えていました。そんな生徒たちの姿を見ていると、相手の言語が分からなくても、いかに相手を理解しようとするか、いかに伝えようとするかを考え行動することが、どんなに大事かということを考えさせられました。

30名の生徒が参加した、この中学生海外研修。オーストラリアで起こったすべてのできごとや出逢った人たち。そのすべてを、30名はそれぞれの感性で受けとめたことでしょう。この研修は、今後の人生においてはほんの一部かもしれませんが、きっと忘れることのできない記憶として残るはずです。

オーストラリアという異国の地で、改めて感じる日本の良さ。そして日本と異なるオーストラリアの良さ。みなさんが今後大人になっていくなかで、自分と違う考えや文化・習慣をもつ人と、きっと出会うことがあると思います。そんなときは、ぜひともこの研修のことを思い出してください。あの時、自分はそのような気持ちで、どう行動したのかを。きっとみなさんの助けになるはずです。

今回、DS校と吉備中学校の間で、姉妹校提携が更新されました。今後ますます、オーストラリアと有田川町が密接に、そして双方がさらなる発展を迎えられるように、ぜひみなさんの力を貸してください。みなさんは、将来の有田川町を担う貴重な人財です。みなさんがこの研修で得たことを生かし、将来有田川町で活躍し、次の世代に引き継いでくれることを心から願います。

みなさん、またお会いしましょう！

